[I]

問1 質量数

- 問2 (1) 中性子数 4, 価電子数 1
 - (2) 中性子数 12, 価電子数 0
- 問3 (1) **H:Br:**
 - (2) **H:C::N:**

問4

問5

HBr 分子が電離し、生成したイオン(Br-と H_3O +)が水和して水和イオンとして存在するため

 $[\Pi]$

問 6 F

問7 $Ca(OH)_2 + Cl_2 \rightarrow CaCl(ClO) \cdot H_2O$

問8 HClO

問9 塩化水素

問10 AgCl PbCl2

問 1 1 AgCl + 2NH₃ \rightarrow [Ag(NH₃)₂]⁺ + Cl⁻

問 2
$$H_2$$
 (気) = 2 H (気) - 436 kJ
 O_2 (気) = 2 O (気) - 498 kJ
 H_2O (気) = 2 H (気) + O (気) - 926 kJ

問3 (ア)吸熱 (イ)負 (ウ)発熱

問 4 482

$$(463 \times 2 \times 2) - (436 \times 2 + 498) = 482$$

問 5
$$H_2O$$
 (液) = H_2O (気) -44 kJ

問 6 73

$$C$$
 (黒鉛) + $2 H_2$ (気) = CH_4 (気) + $73 kJ$

以下のそれぞれの熱化学方程式から求められる。

$$C$$
 (黒鉛) + O_2 (気) = CO_2 (気) + $394 \, kJ$ 式⑥
 $2 \, H_2$ (気) + O_2 (気) = $2 \, H_2O$ (気) + $482 \, kJ$ 式①
 CH_4 (気) + $2 \, O_2$ (気) = CO_2 (気) + $2 \, H_2O$ (液) + $891 \, kJ$ 式⑦
 H_2O (液) = H_2O (気) - $44 \, k \, J$

 $\lceil I \rceil$

問1

A:アセトアルデヒド B:ヨードホルム C:酢酸 D:酢酸エチル E:ジエチルエ ーテル F:エチレン G:塩化ビニル H:ポリ塩化ビニル

問 2

間3 4つ

 $[\Pi]$

間 4 C₄H₅

C:
$$52.8 \text{ mg} \times \frac{12.0}{44.0} = 14.4 \text{ mg}$$
 H: $13.5 \text{ mg} \times \frac{2.0}{18.0} = 1.5 \text{ mg}$

$$C: H = \frac{14.4}{12.0}: \frac{1.5}{1.0} = 1.2: 1.5 = 4:5$$
 → Iの組成式は C_4H_5

問 5 106

Iの分子量をMとすると

- 問1 (a) グリコシド (b) (α -) アミノ酸 (c) ペプチド (d) ヌクレオチド
 - (e) アルコール (f) ヒドロキシ (g) エステル
- 問2 (i) エ, オ (ii) ウ, カ (iii) イ

問3 O = H₂C-O-C-R HC-O-C-R O H₂C-O-C-R

- 問4 (1) 硬化油
 - (2) ニッケルを触媒にして水素を付加させることで作られる。

問5

(1) 0.445 [mol]

 $113 \div 253.8 = 0.44523...$

(2) 4.0 〔個〕

平均分子量 9.0×10^2 の油脂 100.0g の物質量は $100.0\div9.0\times10^2=0.1111....$ mol この油脂に 0.4452 mol のヨウ素が付加する。

- C=C 結合 1 つにつき、1 分子の 1_2 が 4 付加するので、油脂 1 分子あたりの C=C 結合数 は
- $0.4452 \div 0.111.. = 4.0108....$